

# おもしろ算数 155 (小3年生)

(このページは、直接入力できません。そのまま見るか、印刷してもらって使ってね!!)

小学校3年生の みなさん、こんにちは。

おもしろ算数 155 は「かけ算」の問題です。



## 【問題】

つぎのかけ算  $3 \times 14$  は、下のような方法で計算できます。

$$\begin{array}{l} 3 \times 14 \quad \swarrow \quad \searrow \\ \quad \quad \quad 3 \times 10 = 30 \\ \quad \quad \quad 3 \times 4 = 12 \end{array} \quad \left. \vphantom{\begin{array}{l} 3 \times 14 \\ 3 \times 10 = 30 \\ 3 \times 4 = 12 \end{array}} \right\} 30 + 12 = 42$$

だから、  $3 \times 14 = 42$  になります。

同じように、かける数  $14$  を分けて考えて、計算しましょう。

## 【自分の考え】

答え. たとえば、下のようになります。

$$\begin{array}{l} 3 \times 14 \\ \swarrow \searrow \\ 3 \times 7 = 21 \\ 3 \times 7 = 21 \end{array} \quad \left. \vphantom{\begin{array}{l} 3 \times 14 \\ \swarrow \searrow \\ 3 \times 7 = 21 \\ 3 \times 7 = 21 \end{array}} \right\} 21 + 21 = 42$$

だから、 $3 \times 4 = 42$  になります。

※かける数の14をどうやって分解したかというと、  
 $3 \times 14 = 3 \times (7 + 7)$  とかんがえたからです。

上の問題文で考えると、  
 $3 \times 14 = 3 \times (10 + 4)$  と考えたからでs y。

※かける数が10をこえるようなときは、かける数を分解して、2つに分け、それぞれを計算し、その答えを足せばよいことになりますね。

かける数が大きい数の場合も、同じように考えられます。

たとえば、

$$\begin{array}{l} 3 \times 45 \\ \swarrow \searrow \\ 3 \times 40 = 120 \\ 3 \times 5 = 15 \end{array} \quad \left. \vphantom{\begin{array}{l} 3 \times 45 \\ \swarrow \searrow \\ 3 \times 40 = 120 \\ 3 \times 5 = 15 \end{array}} \right\} 120 + 15 = 135$$

だから、 $3 \times 45 = 135$  になります。

この場合も、 $3 \times 45 = 3 \times (40 + 5)$  と考えて、かける数を分解していますね。